

平成28年度第3回経営戦略会議 会議結果の概要

開催日時	平成28年8月10日（水）午後2時15分～午後3時
開催場所	本庁 東庁舎4-2会議室
出席者	市長、副市長、総務部長、危機管理部長、情報戦略局長、環境生活部長、健康福祉部長、産業観光部長、教育部長、上下水道部長、病院経営推進部長
審議事項	
	（1）新市立伊勢総合病院の建設について <病院経営推進部>

1 新市立伊勢総合病院の建設について<病院経営推進部>

概要

新市立伊勢総合病院の建設に係る見直し内容について審議を行った。主な内容については以下のとおりである。

（1）新病院建設事業収支計画の見直しについて

①推移

平成25年3月基本計画時	11,410,000千円
平成27年2月見直し後計画時	14,741,857千円
平成27年8月見直し後計画時	16,819,857千円
平成28年8月見直し後計画時	18,939,857千円（※概算 2,120,000千円増）

②増額内容

ア)	見積提示額	14,580,000千円
	工事費削減額	▲1,440,000千円
	ES事業導入	▲ 920,000千円

概算工事契約予定額 12,220,000千円

イ) 医療機器等整備費：4,000,000千円（1,300,000千円増）

更新・新規購入機器等の精査による

（2）新病院建設スケジュールの見直しについて

開院：平成31年1月（変更前 平成30年5月）

（3）新病院建設に向けた新たな基金の設置について

ア) 名称

伊勢市新病院整備基金

イ) 目的、内容

新病院の整備に要する経費の財源確保及び市民の機運醸成を目的とし、市民等からの寄附金等を受け入れる基金の創設を行う。

結論 提案された内容のとおり進めることと決定した。

主な意見・補足等

- ・ 建設工事費の増額については、実施設計額の変更という理解でよいか。
→ベースは基本設計の114億円であるが、実施設計で増額となったということである。施行予定者から出された145億円はあくまでもプロポーザル時の見積額である。
- ・ 医療機器等整備費の増額理由は何か。
→基本計画時は、標準的な1ベッド当り単価を用いた概算経費によるものであり、現有品を調査して積み上げたものではない。現実よりも見込みが低すぎたと考えている。
また、これまでに定期的な更新を止めてきたことも影響している。現在使用している機器を継続して使用する場合においても、精密機器が多いことから、移設費が高額となることも要因である。
- ・ 医療機器等整備費に使用しない機器の処分費も含まれているのか。
→含まれていない。売却も視野に入れる。
- ・ 企業債の利率についての考え方はどうか。
→利率計算は現時点の数値を用いている。
- ・ 財政収支見通しを検討する際、新病院になった後、従来の非効率な要素を解消する視点を踏まえているのか。
→効率性を高めるための取組については進めるが、財政収支計画には反映はしていない。本視点については、今後、原価管理を進める中で検討したい。
- ・ 基金については、新病院の整備が完了するまでという理解でよいか。
→年限を区切る考え方は現時点ではなく、開院後に廃止することも視野に入れ検討するが、一方で、開院後に機器類の更新等も含めて継続していくという考え方もある。

資料 付議事項書